

# 公共事業再評価調査

整理番号 H16 - 28

担当部課室名	県土整備部 都市計画課	電話番号	017 - 734 - 9682
		E-MAIL	toshikei@ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工 長期継続 (10年) 再評価後 (年) その他 ( )
---------	---------------------------------

## 1 事業概要

事業種別	街路事業	事業主体	県 市町村 その他 ( )					
事業名	街路事業	地区名等	3・3・8号 白銀市川環状線 市町村名 八戸市					
事業方法	国庫補助 県単独	財源・負担区分	国 55% 県 30% 市町村 15% その他 %					
採択年度	平成7年度 (用地着手 平成8年度 / 工事着手 平成13年度)							
終了予定年度	平成21年度 (平成15年3月計画変更 当初計画時18年度)							
事業目的	・八戸市の外環状線として国道及び県道と相まってさらに市街地中心部とを連絡する主要幹線道路であり、高規格道路と主要港湾八戸港及びその周辺の工業団地とを直結できることから、地域経済の発展にとって必要不可欠な道路となっている。このため、沿岸部の臨海工業地帯と本路線の沿線に立地稼働している内陸部工業団地とのアクセス機能向上のため本路線整備が急務となっている。							
主な内容	道路工事L=2、730m (うち高架橋工事L=530m)							
事業費	採択時総事業費 13,303 百万円		(単位:百万円)					
		~13年度	14年度	15年度	16年度	小計	17年度~	合計
	計画 (うち用地費) 15年3月変更	3,411 (2,734)	626 (74)	2,123 (70)	3,010 (51)	9,170 (2,929)	4,133 (322)	13,303 (3,251)
実績 (うち用地費)	4,392 (2,734)	646 (51)	1,452 (14)	1,015 (10)	7,505 (2,809)	5,798 (442)	13,303 (3,251)	

## 2 評価指標及び項目別評価

### (1) 事業の進捗状況

(A)・B・C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
			56.4% [ / ]	81.8% [ / ]
			(86.4%) [ / ]	(95.9%) [ / ]
主要工種毎割合 (事業費)	道路工事 (10,052百万円)		46.7%	75.2%
	用地 (3,251百万円)		86.4%	95.9%
説明	・橋梁工事については既に上部工に着手しており阻害要因なく進捗する見込みである。 ・用地取得は引き続き交渉を進め解決する見込みであり、改良・舗装工事は橋梁部の進捗状況を考慮しながら進めている。			
問題点・解決見込み	_____			
事業効果	_____			
発現状況	_____			

### (2) 社会経済情勢の変化

(A)・B・C

社会的評価	全国・本県における評価	[全国の評価] 平成15年度以降の五箇年間の道路整備は、各事業分野と整合性の確保を図りながら、スピーディなサービス提供、既存ストックの有効活用、事業の透明性、既存制度の見直し等の視点に立ち、活力、暮らし、安全、環境の各施策テーマについて重点的、効果的かつ効率的に進めている。	[県内の評価] 健康で文化的な都市生活と機能的な都市活動を確保する都市内道路のネットワークを形成する街路事業であるが整備率は全国平均51.7%東北6県46.1%青森県35.5%(45位)と低いため街路整備に対する要望は多い。
	当地区における評価	・白銀市川環状線の整備促進要望として、八戸市重点要望及び三八地方土木振興会要望を受けている。	
必要性	・都市計画決定している県道(主要地方道・八戸環状線)である。 ・重要港湾(八戸港)と東北縦貫自動車道(八戸北IC)を連絡している。 ・災害避難路に位置づけられている道路である。 ・八戸市の放射環状型交通体系の骨格をなす外環状線である。		(a)・b
適時性	・八戸環状線(市川工区)道路改築事業と相まって良好な交通体系を形成できる。		(a)・b
地元の推進体制等	・事業に対する反対運動もなく、地域住民の理解と約86%の地権者の協力を得ており、事業の早期完成に努めている。 ・用地取得については概ね合意を得ており事業実施に対する障害は無い。		(a)・b
効率性	・植樹等による生活環境に配慮している。 ・広幅員の道路であるため、防火帯の役割がある。		

## (3) 費用対効果分析の要因変化

(A) ・ B ・ C

区分	主な項目	計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1)事業費	百万円	122 百万円	122 百万円
	(2)維持管理費	百万円	2 百万円	2 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	- 百万円	124 百万円	124 百万円
便益項目 (B)	(1)走行時間短縮便益	百万円	267 百万円	267 百万円
	(2)走行経費減少便益	百万円	1 百万円	1 百万円
	(3)交通事故減少便益	百万円	10 百万円	10 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	- 百万円	278 百万円	278 百万円
B / C			2.24	
【費用対効果分析手法】 (分析手法、根拠マニュアル等) 費用便益分析マニュアル(道路局、都市・地域整備局)及び街路事業における費用便益分析マニュアル(案) 【費用対効果分析における特記事項】 街路事業の費用対効果分析は平成10年度より行われており、計画時には算出していない。				

## (4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A) ・ B ・ C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 ・路盤材・舗装材に再生材を使用し経費の縮減を図っている。 ・建設発生土を盛土材料に利用し経費の縮減を図っている。	(a) ・ b
代替案	【代替案の検討状況】 ・ルートは都市計画決定された道路である。	(a) ・ b

## (5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A) ・ B ・ C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 ・八戸市重点要望及び三八地方土木振興会要望。	【住民ニーズ・意見】 桔梗野工区の早期整備の要望意見が出されている。	(a) ・ b
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への対応】 (1)地域区分 <input type="text" value="H4a"/> (2)対応状況 <input type="text" value="配慮している"/> <input type="text" value="配慮していない"/> 【特記事項】	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 配慮している <input type="text" value=""/> 配慮していない <input type="text" value=""/>	(a) ・ b
地域の立地特性	・工業団地内を縦断する道路である。		

## 3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続 <input type="text" value=""/> 計画変更 <input type="text" value=""/> 中止 <input type="text" value=""/> 休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	・継続して事業を進め事業効果の早期発現を図る。
備考	

## 4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり <input type="text" value=""/> 対応方針(案)を修正すべき <input type="text" value=""/>
委員会評価	継続 <input type="text" value=""/> 計画変更 <input type="text" value=""/> 中止 <input type="text" value=""/> 休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見	
評価理由	